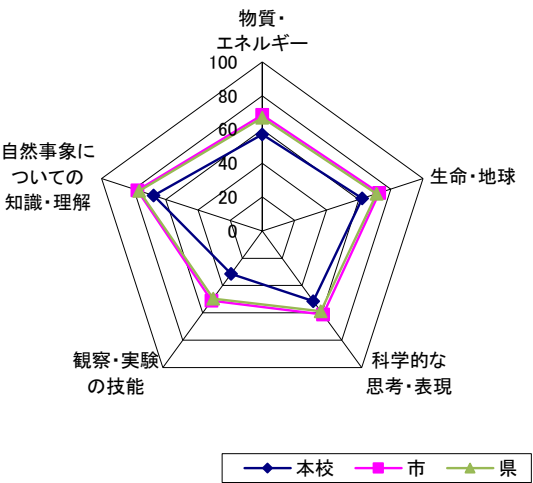


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	57.1	68.6	67.0
	生命・地球	62.2	72.7	71.1
観点	科学的な思考・表現	51.4	61.2	58.8
	観察・実験の技能	31.5	51.0	49.5
	自然事象についての知識・理解	67.6	77.7	76.6



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●閉じ込めた空気を圧す際の体積と手応えの変化に関する問題については、58.3%で市の平均より25.4ポイント下回っている。 ●金属の性質を基に温めるとふたが開く理由を書く問題については、47.2%で市の平均より22.8ポイント下回っている。	・実験に関心が高い児童が多いため、日常生活と実験が結びつくようなテーマを設定し、実験への意欲がさらに高まるようにする。 ・実験の際には、どこに注目すべきかのポイントを示し、目的をもって実験に臨めるようにする。
生命・地球	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●人のうでのつくりの図や説明から関節の働きについて考える問題については、63.9%で市の平均より16.5ポイント下回っている。 ●方位磁針の適切な操作方法についての問題では、13.9%で市の平均を18.6ポイント下回っている。また、星座の動きを捉えるために適切な記録方法について考える問題については、30.6%で市の平均を23.9ポイント下回っている。 ●太陽の動きから地面に立てた棒の影の動き方についての問題では、上位と下位層の正答率の差が88.9%と大きく、個人差がかなり見られる。全体的に天文分野に関して低い値を示している。 ○「季節と生物」の内容では、平均正答率が70.8%で県の平均より1.3ポイント上回っている。	・児童の日常生活における疑問や発見を拾い、それらを導入に取り入れ、生命・地球分野への関心が高まるよう支援していく。 ・保護者の協力や理解のもと、家庭学習において、夜に星座を見る機会を促していく。 ・授業の中で、復習・まとめの時間を十分に確保し、学習内容の定着を図っていく。